

いっわくんの岩倉じまんッ!



今月は、日本甲虫学会の学会誌に掲載された希少なゲンゴロウよしむらゆあんに関する論文を執筆した吉村優杏さんを紹介するイワ!



平成29年3月下旬、昆虫採集ツアーで沖縄県にある小浜島に訪れた吉村さんは、4日間にわたり、池の浅瀬や水路などで採集に取り組みました。その後、採集結果を確認するため、吉村さんが足繫く通っている石川県ふれあい昆虫館学芸員の渡部晃平さんを訪問し、確認してもらったところ、希少性の高いサメハダマルケシゲンゴロウと新種のチュウガタマルケシゲンゴロウの姿が確認されました。両種が小浜島で確認されたのは初めてのことであり、渡部さんとの共同で論文を執筆することに。論文は日本甲虫学会の学会誌に掲載され、吉村さんは最年少で同会の会員となりました。

吉村さんは、幼いころに自然生態園に行ったことがきっかけで、水生昆虫に興味を持ち始めたそう。で、「すごく小さな昆虫にもきれいな模様があったり、想像できないような生態を持っていたりするんです。」と昆虫の魅力について語ります。また、岩倉市でも曾野町や南部中学校周辺などで昆虫採集をするように、「都会だと虫がおらず、逆に田舎だと多すぎて当たり前になり興味を持ちにくいですが、岩倉はちょうどいいバランスで、虫に興味を持つのに適した環境です。」と岩倉の昆虫の環境について教えていただきました。

将来は学芸員として働きたいと語る吉村さん。夢の実現のために日々勉強を重ねているそうです。ただ、引き出しの中で飼っている昆虫が気になり、勉強の手が止まってしまうこともあるとか。

輝く瞳で昆虫の話をしていただいた吉村さん。これからも勉強を続け、夢を叶えてください。

広報モニターさんの

まちかどスナッフ

※広報モニター山田幸哉さん提供。



2月10日(土)、五条川の遊歩道の花壇で岩倉ふれあい花の会のメンバー25人によりパンジーの花がら摘みと水やり作業が行われました。春には桜との共演が楽しみです。



2月10日(土)、総合体育文化センターでいわくら・ユニバーサルデザイン研究会により車いすテニス体験が催され、車いすテニス選手の指導のもと、参加者はその難しさを感じながらも真剣に取り組んでいました。



●岩倉市ほっと情報メールにご登録ください。防災や防犯、イベントなどさまざまな情報をお届けします。



●毎月1回 1日発行

●岩倉市ホームページアドレス <http://www.city.iwakura.aichi.jp/>

●岩倉市Eメールアドレス(代表) koho.psec@city.iwakura.g.jp

●編集・問合せ 総務部協働推進課広報情報グループ (☎38-5802)

穴をあける際にご活用ください。

●発行 岩倉市役所 〒482-8686 愛知県岩倉市栄町一丁目66番地

☎0587-66-1111 FAX0587-66-6100

広報いわくら音声版(CD)を用意しています。また、ホームページでも公開しています。どなたでもお聴きになれますのでご利用ください。